

面
打

面めんちほしそちやまかはみなに
にもき'いあふこけひといぬうん耳色
アゲツ子ホシリラヤフハル三市戸二
のモホ'いロコケヒトヤヨウん戸二
天地呈空山川峰谷雲霧室苔人大上未
安け字在於加幾久計己佐之寸世呂太
A B C D E F G H I J K L M N O a b c d e f g h i j
k l m n o 1 2 3 4 5 6 7 8 9 , . ! ? * & %

38Q / 50H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客
車に隅に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つて
んや'養車の笛を待つて

22Q / 33H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客車に隅
に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つていた。とうに電
燈のついた客車の中には、珍
らし私の外に一人も乗客は

16Q / 27H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客車に隅に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らし私の外に一人も乗客はいなかった。外き覗くと、うき暗いワットフオオしにも、今日は珍しに見送りの人影は足跡き絶つて、此、

28Q / 38H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客車に隅に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つて

20Q / 30H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客車に隅に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らし私の外に一人も乗客はいなかった。外き覗くと、うき暗いワットフオオしにも、今

16Q / 24H

或るった冬の日暮である。私は横須賀養上'二等客車に隅に隠さ下して、ほんや'養車の笛を待つていた。とうに電燈のついた客車の中には、珍らし私の外に一人も乗客は